

成果の説明書

(氏名) 井上 真由美	(学部) 経済学部
1 重要事項	
【研究活動】	
(1) 渋沢栄一の私立学校支援に関する論文を執筆した 「渋沢栄一の支持する教育手法についての試論」『地域政策研究』第26巻第2・3号、2023年。 「渋沢栄一による私立学校支援に関する実証的分析」『渋沢研究』第36号、2024年。	
(2) テキスト担当章の加筆・修正を行った 「第3章 アンタレプレナーシップ教育—アントレプレナーは育てられるのか?—」山田幸三・江島由裕編著『1からのアントレプレナーシップ〈第2版〉』碩学舎、2024年。	
(3) ファミリービジネスのケーススタディ報告を行った 日本大学—三井住友信託銀行ファミリービジネス研究ユニットによる「日本のファミリービジネスに係る共同研究」プロジェクトに参加し、共同研究連絡会議においてケーススタディの報告を行った（2023年12月26日、zoom開催）。	
(4) 学会のセッションにおいて報告者へのコメントを行った 日本マネジメント学会全国研究大会の「統一論題セッション1：マネジメント研究におけるパーパスとは何か」における野林晴彦氏と村山元理氏のご報告に対し、代表質問者としてコメントと質問を行った（2023年10月7日、於 駒澤大学）。	
2 その他の事項	
【教育活動（ゼミ）】	
昨年に引き続き、ゼミ生と企業訪問や工場見学を行い、学生たちと共に学びを深めることができた。	
【その他】	
・学生部長補佐の業務に従事した。 ・学会、学外の委員の業務に従事した。 ・地域科学研究所主催の公開講座において、「渋沢栄一と商業教育」というタイトルで講義を行った（2023年11月14日）。 ・ラジオ高崎のラジオゼミナールにおいて「企業経営に関する教育活動について」、「出光佐三の思想と学校教育について」というタイトルで収録を行った（2023年12月29日）。	
3 次年度以降の計画・抱負	
【研究活動】	
・上記したファミリービジネスに関するケーススタディの原稿を完成させたい。	

- ・地域科学研究所の製造業プロジェクトにおける担当事例の原稿を完成させたい。
- ・渋沢栄一の商業教育支援に関する調査を引き続き進め、論文執筆につなげてゆきたい。

【教育活動（ゼミ）】

ゼミでは、新たな調査対象企業を選び、調査の実現に向けて計画と準備を進めてゆきたい。

【その他】

学生部長補佐の業務については、前年度の反省点を生かし、学生の支援に力を入れたい。